

科目担当者氏名		科目担当者連絡先（メールアドレス）	
白川俊之・山中千恵・島岡哉		yamanaka@jindai.ac.jp	
連絡責任者氏名		科目設置機関名	
織田 暁子		仁愛大学 人間学部 コミュニケーション学科	
授業科目名	科目認定番号	受講者数	
社会調査演習 b	JNAa-150702-2	3人	

I. 調査実習に関するコメント

学生が果たした役割や実習全般に対する感想など：

質的調査の基本概念を講義形式および演習形式で学ぶとともに、学生は社会調査の全行程を実際に体験した。

II. 調査の企画・設計（デザイン）

1. 調査のテーマ／領域：

あわら温泉を知る

2. 調査の内容／概要：

あわら温泉がガイドブックの内容分析及び、温泉旅館の「女将」へのインタビュー調査。

3. 調査の範囲／対象（量的調査の場合は母集団と標本数及びサンプリングの方法を、質的調査の場合は対象者選定の理由を必ず記入）：

ガイドブック「るるぶ」1990年から現在までの全数調査。及びあわら温泉の老舗旅館を対象とした。

4. 主な調査項目：

ガイドブックの内容分析においては、あわら温泉ページに用いられている用語、写真、レイアウトを調査対象とした。インタビュー調査では、女将の役割や労働環境に関する項目を調査した。

III. データ収集の方法と結果

5. データ収集（現地調査）の方法：

内容分析：学生が県内図書館に所蔵されていたガイドブックを収集。インタビュー調査：学生が現地に赴きインタビューを行った。

6. 調査の実施時期・調査地・調査員の数：

2016年8月～9月。内容分析1名（県内図書館等）。インタビュー調査2名（あわら温泉老舗旅館）。

7. 収集したデータの量と質への評価（量的調査の場合は有効回収票及び回収率を必ず記入）：

参加学生が少数であったため、各自の収集できたデータ数が限られてしまったが、内容分析においては期間内に発行された「るるぶ」全巻を対象とできた。またインタビューにおいても、最も古い旅館を対象とすることができた。

IV. データ分析の方法と結果

8. データ分析／解釈の方法：

内容分析法および、インタビュー法による。

9. 調査の成果（調査から得られた主な知見など）：

内容分析からは、あわら地域において「温泉」の重要性が強調されるようになってきたとともに、温泉施設の高級感が示されるようになってきたことが分かった。他方、あわら温泉における「おもてなし」では、労働のジェンダー化を前提とした女性による、女性的なサービスが強調されていることがわかった。

10. 報告書刊行の予定と概要：

受講生による分析結果をまとめた報告書が2016年度末に発行された。